

しせいかい

Shiseikai

夏の号

vol.90
2019.7



作業療法による作品

Contents

- 第32回志誠会医学会
- ふれあい看護体験
- 陽光館／就労訓練工場しせいかい★親睦会
- 作業療法便り
- この夏のありんくりん

ホームページアドレス <https://shiseikai-heiwa.com/>



第32回志誠会医学会の開催

(第32回医学会プロジェクトリーダー 利根川義昭 [心理課])

6月27日(木)、平和病院第1講堂にて、第32回志誠会医学会が開催されました。志誠会医学会は例年、志誠会の職員の取り組みや専門性の研鑽をすることを目的に行われています。今年度は例年よりも長い半年間にわたる研究期間を設け、リサーチクエスチョンと研究デザインから考える勉強会を開催するなど、より質の高い実践につながるよう取り組みました。本年度のテーマは「精神科病院における地域医療を考える」でした。平和病院、陽光館より13題の演題発表があり、各発表後は質疑応答を通して、さまざまなディスカッションが行われました。

午後の部では、「精神科地域包括ケアシステムの構築に向けて」と題してシンポジウムが開かれました。

医師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士、計画相談員の各専門職5名のシンポジストと、指定討論者には、大阪のさわ病院より澤温先生にお越しいただき、今後の地域精神医療のあり方について活発な討論が行われました。

当日の様子について、研究発表やシンポジウムの内容を一部ご紹介します。



シンポジウム

テーマ：「精神科地域包括ケアシステムの構築に向けて」

指定討論者：社会医療法人北斗会さわ病院理事長 澤温先生

午後のシンポジウムでは、「地域医療」をテーマに活発なディスカッションが行われました。地域包括ケアとは、2025年に団塊の世代が75歳以上となり高齢者人口が急増することを見据え、医療財源が破たんすることが無いように医療費を調整する国の施策のことです。そのため病院には時代に合わせた実践が求められています。今回、「平和病院が地域医療を行っていくために必要なことは何か？」を考えるために、各専門職から5名のシンポジストが登壇し発表を行いました。指定討論者の澤先生も交え、白熱した討論となりました。討論では患者さんの退院後を見据えた退院前訪問や訪問看護、リハビリ、地域連携、など今ある医療サービスを今後さらに活用していく事の重要性が話し合われました。



優秀論文

志誠会医学会では、毎年、厳正な審査基準の下、発表演題の中から最も優秀な研究論文を審査し表彰しています。

今年度は、**診療相談課の「新規患者の来院が集中する日の探索的調査」**と題する研究が「新規患者の来院は休診日明けの月曜日に集中しやすい」ことを明らかにし、今後の実践につながるものとして優秀賞を受賞しました。



審査員特別賞

また今回審査員特別賞として、**陽光館第2生活棟の「スライドボードでの移乗介助を実践～抱えない介助を目指して～」**と題する研究が表彰されました。

これは介護士の離職要因の1つとされる[腰痛]の問題に着目した研究で、腰痛軽減のためのスライディングボードの導入の有効性が検証されました。



リサーチクエスチョン賞

今回、新たな表彰としてリサーチクエスチョン賞が設けられました。

作業療法課の「統合失調症長期入院患者に対する言語機能改善アプローチ～調理活動を活用した取り組み～」が受賞し、「調理活動を用いた言語機能の改善アプローチは、どのような影響を及ぼすのか？」という一貫した探求的態度が評価され、表彰されました。



長期入院患者への足浴アプローチ

療養病棟からは**5病棟の「長期入院患者に対する角化症改善に向けての取り組み～足浴を導入して～」**が発表されました。角化症という足にみられる症状に着目し、改善のためのアプローチとして小グループでの足浴を導入した効果を、療養者との交流の様子や実際の足の経過の写真を通して紹介していました。



～ふれあい看護体験～

5月12日『看護の日』にちなんで令和元年5月14日に「ふれあい看護体験」を実施しました。今年は具志川高校、与勝高校、美里高校から13名の高校生が参加し、施設見学・看護体験を実施しました。



「ふれあい看護」とは…

近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなんで5/12が看護の日と制定されその週を看護週間と定められています。

ふれあい看護は市民のために保健医療機関がドアを開き見学や簡単な看護体験、関係者との交流などをおこなうイベントです。

参加者の感想を 一部紹介します。

先生や看護師さん達と患者さんの関係など見て、どんなことをしたりするのかが分かってとても勉強になりました。

患者というよりも一個人として接しているようにも思えた。患者さんにやさしい看護師になりたいと思った。

精神科の暗いイメージが無くなった。外来の天井の高さ、病棟の窓の多さ「開放感」が心を良くすると感じた。

私は親から精神科は難しいと聞いていたのですが、しっかりと会話をしてくれたのでイヤダという気持ちが無くなりました。

患者さんと先生たちの距離が近かったりして学ぶことがたくさんありました。

精神科は怖いイメージしかなかったけど、意外に怖くないし、施設もきれいで驚きました。

陽光館

◆大正琴ボランティア 虹の会◆

去った6月26日（水）、大正琴ボランティア「虹の会」の皆さんが来館され、「春の小川」「荒城の月」など12曲を演奏して頂きました。「虹の会」の皆さんには、何度もボランティア演奏をして頂いており、今では、陽光館の療養者にとっては定期的に演奏を聞く事が出来る「身近な癒し」となっています。

「虹の会」の皆様、いつもありがとうございます。



■「おいも会」(3階生活棟) ■

去った7月19日（金）、陽光館ロビーにて 3階生活棟の療養者の皆さんで、ふかし芋を食べながら余興を楽しむ会「おいも会」を開催しました。台風5号の影響を受け、天気にはあまり恵まれませんでしたが、初の開催を盛り上げるべく「安里屋ユンタ」「肝がなさ節」など職員の三味線余興もあり、食も心も満たされた楽しい時間を過ごしました。



就労訓練工場しせいかい★親睦会

去った6月29日(土)、就労訓練工場しせいかいの親睦会がありました。

当事業所には5カ所の訓練工場があり、それぞれの場所で40名以上の訓練生が作業に取り組んでおり、今回慰労会を兼ねたBBQを行いました。

普段顔を合わせる機会は少ないので、親睦会では指導員が腕をふるった美味しい料理を囲んで皆さん和やかな時間を過ごしました。

これから夏本番です、栄養つけてがんばっていきま～す！



～『良い体験』の為に～

はじめまして。作業療法課に入職して4年目の作業療法士、知名明菜と申します。作業療法便りを担当するのは2回目です。私たちが行っている作業療法のプログラムや患者さんの様子をイメージできるように頑張りますので、宜しくお願ひ致します。

さて今回は、私が担当している高齢の方を対象としたリハビリプログラム『身体リハビリ班』の紹介と、Aさんという患者さんの一言をお伝えしたいと思います。



作業療法士：知名 明菜

身体リハビリ班では、プログラムの前半でストレッチや体操を行って身体的なリハビリを行い、後半には、曜日別にメニューを変えてアプローチしています。ちなみに曜日別のメニューは、月曜日：整容活動、火曜日：映画観賞、水曜日：書道・塗り絵・カレンダー作り、金曜日：散歩・カードゲーム・歌唱、土曜日は室内レクといった具合です。

ある金曜日、散歩を希望された患者さん何人かを連れて、中庭まで出かけてみました。

晴れた日には、青々とした芝生の見ながらベンチで休憩したり、人によっては中庭を歩くこともあるのですが、この日は小雨がパラつくあいにくの天気。中庭までは無理そうだったので、濡れないように屋根のある正面玄関前まで行ってみることにしました。

散歩を楽しみにしていたAさんは、出かける前から「散歩行こう。行こう。」と少し落ち着かない様子。私は、Aさんの乗っている車椅子を押しながらも「晴れいたら喜んでもらえたのになあ～。」と少し浮かない気分でした。

玄関先を出て中庭手前まで行くと、私の予想に反して、A氏は大きな声で「きれいー！」と何度も繰り返していました。それだけでなく、「歩こう！」と言って今すぐにでも散歩したい様子。天気が悪かったので「今度晴れた日に一緒に歩きましょうね。」と私が伝えると、「お願ひしますね。お願ひしますね。」と嬉しそうに答えました。

少しどんよりとした残念な天気だったにも関わらず、外の風景をみた瞬間にA氏の漏らした一言が、私には意外でとても印象的でした。

私にとっては普段見慣れている病院の中庭の風景。しかし、普段病棟から外に出る機会の少ないAさんにとっては、頬に当たる風、室内では見られない花や木々の色、一つ一つがとても新鮮に感じたハズです。「きれいー！」は、つい口をついて出た本音だったのでしょう。それまで落ち着きのなかったAさんは、散歩から戻るなりすっかり落ち着いて過ごす事が出来ました。

身体リハビリ班に参加されている方は、その症状も、障がいも、困っている事も、悩んでいる事もバラバラです。そんな生活をおくる中で、参加されている方全員が満足するようなプログラムを毎日提供する事は難しいかもしれません。

でも、「楽しい」「気持ちいい」「参加して良かった」といった良い体験をしてもらって、ニコニコした表情や明るい言葉を少しでも引き出せるように、今後も頑張っていきたいと思います。

この夏の

ありんくりん



小学生とアルコール ~薬物乱用防止教室 7月2日(火) 田場小学校~

7月2日、うるま市立田場小学校にて、未成年のアルコール飲酒防止のための「薬物乱用防止教室」が開かれました。今回の講話は夏休みを前に控えた小学5年生の児童を対象に、未成年がお酒を飲むことによる脳や身体への健康被害や、若年性(あるいは大人の)アルコール依存症について学ぶことで、お酒の怖さについて知ることを目的に開かれました。講話は担当の公認心理師が行いました。講話では肝臓や脳のCT画像の写真を通しての説明や、「実際に大人からお酒を飲むよう誘われた場合どのように断ればよいか?」等について、ロールプレイを演じることでの体験的な学習の機会を設けました。受講した子供たちからは「お父さんに飲みすぎたら身体に悪いことを教えてあげたいなと思いました」「なぜ未成年がお酒を飲んではいけないのかがわかった」「どうして人は体に悪いものを作るのだろうかと思いました。」など、お酒の危険性への意識の高まりがみられました。お盆やシーミー、エイサーなど沖縄はお酒に触れる機会も多いかと思いますが、子ども達の健康な育ちを地域で守ってくことが大切だと感じました。



『第31回 盛夏祭』開催します!!

今年も盛夏祭の季節がやってきました!!

恒例のエイサー・民踊団体による盆踊り、模擬店ではそばや焼き鳥などをご用意し皆さんに楽しんで頂けるお祭りとなっております。また大人気のキッズコーナーもありますので、ご家族ご友人の皆さまとご来場ください!!

日時：令和元年度8月10日(土)18:30～ ※雨天時：8月17日(土)

場所：平和病院グラウンド

内容：青年会によるエイサー(屋慶名青年会・沖縄市東青年会)

民踊団体による盆踊り

模擬店・キッズコーナー



PRFインターンシップ

しせいかいでは地域の高校のインターンシップ生を受け入れています。

今回は具志川高校から3名、しせいかいの就労訓練や生活訓練を体験してもらいました。

緊張しながらも、メンバーさんと交流しながら作業に取り組み、2日間の日程を終了しています。

メンバーさんも、学生さんとの交流楽しんでいます！



設立理念

- 当院は新しい精神医療を行うことを目的とする
- 精神障害者及びその家族の立場に立ち可能な限り物心両面から援助を行う
- 作業療法、レクリエーション等を再検討し真に社会復帰に結びつく療法を確立する
- 地域精神医療を行う
- 精神医学、精神医療の発展に結びつく研究を行う
- 病院運営にあたっては一般企業並みの経営を行い医療は最新かつ高度なものとする

患者憲章

- 平和病院は、設立理念に則り、医療の中心は患者様のためにあることを深く認識し、一人ひとりの患者様に次のような権利と責務があることを宣言します。
- あなた様には尊厳とプライバシーの保護を受ける権利があります
 - あなた様には最良な医療を平等に受ける権利があります
 - あなた様には知る権利があります
 - あなた様には自己決定する権利があります
 - あなた様には責務があります

基本方針

当院は、自然環境を活かし、アメニティーの充実を図ると共にチーム医療における質の高い医療を追求する。また、医療・保健・福祉における連携および患者様の人権を尊重し、患者様並びに家族との相互理解を深め、地域のニーズにあった信頼される医療を提供する。



精神科・心療内科

平和病院

病床数：212床（内 指定病床17床）

- 精神科救急入院病棟（スーパー救急） 精神療養病棟 精神科訪問看護 精神科デイ・ケア
受付/午前8:30～11:00 午後1:00～3:00 木・日・祝祭日は休診
電話:098-973-2000 住所:うるま市字上江洲665番地
 相談支援事業所せいかい（指定特定相談支援事業）



介護老人保健施設

陽光館

入所定員：140床（認知症専門棟40床）

- 介護老人保健施設陽光館入所 短期入所療養施設陽光館 デイケアセンター陽光館 電話:974-4000
 ホームヘルプサービスセンター陽光館 居宅介護支援事業所陽光館 電話:974-8000
受付/午前8:30～12:00 午後1:00～5:00 木・日・祝祭日は休館
住所:うるま市字上江洲661番地
 認知症グループホームあおば邸 電話:974-9770 住所:うるま市字上江洲708-1
 うるま市地域包括支援センター具志川ひがし 電話:974-4001 住所:うるま市宮里265-4



医療法人社団志誠会

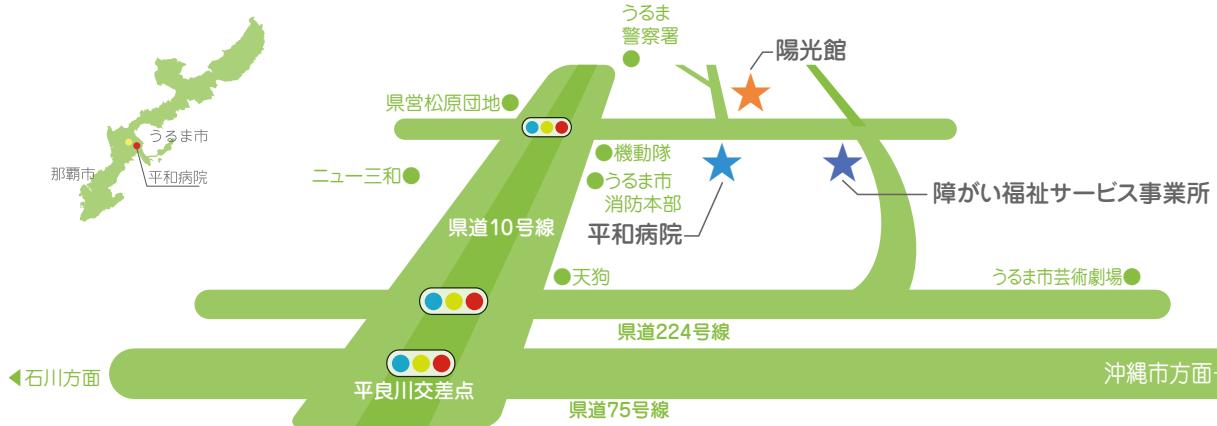
障がい福祉サービス事業所

- グループホームせいかい（外部サービス利用型共同生活援助・短期入所）電話:974-6000
 自立訓練事業所せいかい（宿泊型自立訓練・生活訓練・短期入所）電話:974-6100
 就労訓練工場せいかい（就労継続支援B型）電話:973-0030

職員募集!!私たちと一緒に働きませんか?

志誠会では「看護師・准看護士・介護福祉士・調理員」を募集しています。
その他職種も募集していますので、興味のある方はお問い合わせ下さい。

098-973-9590(平和病院 管理部)

各施設へのアクセス**編集後記**

梅雨が明けてもジメジメした日が続いているが、クーラーで体調を崩さないようにしていきたいですね！さて、先日当院では「精神科病院における地域医療を考える」というテーマのもと医学会が開催されました。僕はシンポジストとして参加させて頂き、地域医療とは何か？これから当院は何をしていけばよいかを考えるよいきっかけとなりました。本広報誌も、そんな地域医療を行っていく中での、ひとつのツールだと考えていますので、様々な情報を発信できたらと考えています。最後に、優秀賞を受賞した我らが診療相談課の渡嘉敷さん、おめでとう！！！

(高屋 幸佑)